

社協報「ほほえみ」の名称は明るく夢をもって笑顔で暮らせる地域の福祉づくりを進めていくことから名づけられました。

▶ ふれあいフェスティバルで
「ふしぎ体験・ドラマサー
クル」



◀ 「ふれあいフェスティバルで
「ポップコーンとわたあめコ
ーナー」



・ 支えあい
・ 助け合い
・ 励まし合う
地域づくりを
目指して



▲ 赤い羽根街頭募金ボランテ
ィア（火のアーtofフェステ
ィバル会場）



▲ 障がい者希望の旅「いい旅ときめき隊」

▲ ふれあいフェスティバルで
木のペンダント作りとぬり
絵コーナー



▲ 祇津小学校福祉体験学習の「ツインバスケット」

○ 第6回「福祉の森ふれあいフェスティバル」特集

○ おらほの地域福祉づくり事業

○ 各地の生き生きサロンから

○ 月間スナップ

○ 「ボランティアかわら版」



第6回「福祉の森 ふれあいフェスティバル」から

ボランティア・おもしろ体験がいっぱい！

“いつでも、どこでも、誰とでも楽しもうボランティア”をテーマに、「第6回福祉の森ふれあいフェスティバル」は10月24日、市総合福祉センターを会場に開催、約650人が訪れました。主催は同フェスティバル実行委員会（小林経子委員長）と市社会福祉協議会。多くの団体の協力を得て、おもしろ体験広場やおらほ横丁など盛りだくさんの内容で行いました。

オープニングセレモニーでは、くるみ幼稚園園児が“童謡”を披露し、かわいい歌声が秋空に響きました。他にも展示、体験コーナー、スタンプラリー、煙体験ハウス、餅つき体験道場、野点サロン、喫茶サロン、ふれあいステージ発表などの内容に、福祉の森は一日にぎわいました。

楽しみながら、福祉にふれることができる「ふれあいフェスティバル」。市民がボランティアに親しんだフェスティバルの様子を、写真で紹介します。



▲開会式で小林経子実行委員長あいさつ



▲「くるみ幼稚園」園児の合唱（オープニング）



▲餅つき体験道場（実行委員会）



▲信州小諸与良チンドンバンドの演奏流し



▲パネル展示（根っこの会）



▲AED体験（長野救命医療専門学校）



▲たい焼きコーナー（ちいさがた福祉会）



▲プラバンキーホルダー作り
(㈱ファンケル発芽玄米の皆さん)



▲点訳で名刺づくり (くるみの会)



▲けん玉名人登場！



▲手話体験 (もみじ・手のひらの会)



▲福祉車両体験コーナー



▲ダーチャのパン販売



▲車いす体験



▲野点サロン



▲フォークダンス
(乙女平フォークダンス愛好会)



▲手話ダンス (サンフラワーズ)

おらほの地域福祉づくり事業

桜井支部「おらんち会」

平成21年度「おらほの地域福祉づくり事業」の対象支部として取り組む桜井支部「おらんち会」では、日々の暮らしの中の悩みや困りごとについて話し合いが行われ、日ごろ実施している「生き生きサロン」に男性の参加者が少ないことが挙げられ、10月11日、おらんち会が企画し、福祉運営委員とボランティアの皆さんで実施しているサロンとの合同の交流会が行われました。この企画の目玉は、男性の皆さん向けに企画した「桜井区の歴史」についての地元・青木一郎さんの講演と、「桜井神社内部の見学」です。当日は、歴史に興味のある大勢の男性の皆さんと生き生きサロンを楽しみにしている女性の皆さんが集まり、大変賑やかな交流会になりました。また、今回は「お茶以外の飲物（アルコール類）については各自ご持参下さい」という案内をしたところ、参加者の皆さんも理解され、協力いただきました。今後、おらんち会では、互いにつくりあげるサロン活動等の取り組みを行いながら、区の中の支え合いや助け合いの仕組みづくりに繋げていきます。



講演する青木一郎さん



男性もたくさん参加しました

各地の生き生きサロンから

県 区

10月2日、県区では生き生きサロンを市高齢者センターで開きました。この日は「足腰シャンシャン教室」や高木幹雄さんの歴史の話を聞いたり、ミュージックベル演奏、お手玉など多彩な内容で楽しみました。

生き生きサロンは毎月1回開催しており、毎回50人位が訪れます。保健補導員と福祉運営委員、民生委員らが中心となり企画、“輪”を広げています。

足腰
シャン
シャン
教室

みんなで協力して生き生きサロンを運営しています

御牧原北部区

晩秋晴天の11月8日、成沢誠一福祉運営委員長の音頭のもとで、80歳を超えた人、65歳以上で一人暮らしの人などを対象とした生き生きサロンには総勢40人ほどが集会施設に集まりました。山丸先生によるハンドベルとお笑いグ〜パ〜の余興を楽しみ、昼には福祉運営委員やボランティアさんたちの手作りそばと手料理をいただいて、互いに打ち解けた会話と親睦を深めることができました。

▲福祉運営委員長の
成沢誠一さん

御牧原北部の生き生きサロン

月間スナップ

「いい旅ときめき隊」

9月11日、「いい旅ときめき隊」と題し、日ごろ障がいのため外出の機会に制約のある皆さんを対象に、1泊2日で糸魚川温泉へ出掛けました。当日は、車イスごと乗車できるリフト付観光バスを利用し、ボランティアの皆さんの協力で糸魚川温泉に向かいました。糸魚川温泉では、名物のフォッサマグナの温泉に浸かり、夜は海の幸を堪能しつつ参加者同士交流しました。2日目は、フォッサマグナミュージアムを見学し、海てらす名立では海産物の買い物と楽しいひと時を過ごしました。



赤い羽根共同募金

全国一斉に展開された募金活動に呼応して、日赤奉仕団の皆さんにより10月1日はしなの鉄道田中駅前で、10月10日には火のアートフェスティバル会場では民友会の皆さんも募金活動を行いました。

田中駅前では利用者らが、フェスティバル会場では訪れた親子連れらが協力してくれました。

介護者リフレッシュ

10月29日、日ごろ在宅で介護している皆さんを対象に、介護者リフレッシュ交流会が行われ、山梨県石和温泉方面に1泊2日に出掛けました。1日目は車窓から見る紅葉とおしゃべりを楽しみながら昇仙峡へ向かい、日本一美しいと言われる渓谷を満喫しました。またホテルでは泉質の良い温泉と郷土料理を堪能し、歌などで参加者同士交流しました。2日目はハーブ園やファイナリーの見学、ぶどう狩りを楽しみ、帰りには家族へのお土産をたくさん買って帰りました。日ごろの介護を忘れ、心身ともにリフレッシュした2日間でした。



長野県社会福祉大会

「第58回長野県社会福祉大会」が9月9日、伊那市で開催され東御市社協理事ら21人が参加しました。式典では、東御市の手話サークルもみじ（俵君子代表）が社会福祉功労者表彰を受け、北御牧地区民生児童委員協議会が優良単位民生児童委員協議会表彰を受賞されました。



＝お知らせ＝

「第6回東御市 障害者福祉のつどい」

- ▼日時：11月27日(金) 午前9時30分～
- ▼会場：市中央公民館
- ▼内容：式典、福祉講演会(午前10時30分～)
(講師は唐木 昭氏)
- ▼入場：講演会は無料
- ▼問い合わせ：62-4455

ボランティアかわら版



柵津小学校 福祉体験学習

日時：10月7日 9：40～11：20

5年生34人…点字・手話、6年生48人…車いすツインバスケット・高齢者擬似体験・ガイドヘルプ体験

講師：出沢和也・松林祐子・森田セシリア・神谷まつ子・上原玉江の皆さん

信州流星倶楽部（車いすツインバスケットボールチーム）

協力：ボランティアの皆さん

アイマスク体験

・市報を音声で伝える機械があることを知り、すごいと思いました。



・普段、なんとも思わないで使っている物や建物が見えないと、とても不便なことがわかりました。

点字体験

・出沢さんは、仕事を元気にやっていますすごいなあと思いました。

・点字を打つのは難しかったけれど、自分が打った点字を読んでもらえて嬉しかったです。



手話体験

・楽しく覚えることができました。あいさつなど、家の人にも教えたいです。
・目の不自由な人が、いろいろな工夫をして生活していることがわかりました。



車いすツインバスケット

・障がいのある人もできるスポーツがあり、とてもよいと思いました。
・車イスを操作するのは難しかったですが、試合をやっているうちになれて楽しくなってきました。



高齢者擬似体験

・年をとると、目や足や手が大変になるなんて思ってもいませんでした。これからは、お年寄りに席をゆずったり、なにがをやっている時に声をかけるなど、心づかいを大切にしたいです。



第34回 信州発ボランティア・地域活動フォーラム in 北安曇野

9月26日・27日に、北安曇郡小谷村で「第34回信州発ボランティア・地域活動フォーラム in 北安曇野」が開催され、ボランティア連絡協議会の3人が参加しました。1日目のウェルカムセッションでは、大北地域の住民活動の紹介があり、記念講演では、小谷村で棚田再生に取り組む俳優の永島敏行さんが、俳優業と農業を行う中で体感した地域について思いを語りました。

2日目の分科会では、それぞれのテーマについて深く掘り下げ、日々のボランティア活動を振り返る良い機会となりました。

新たな人との出会いと学びで、充実した2日間となりました。



北御牧小学校 福祉体験学習

協力：ボランティアの皆さん

手話体験（6月18日・4年生）

講師：松林祐子さん・山口孝子さん・
森田セシリアさん

手話通訳：丸山純子さん・竹内澄子さん・
和田美智子さん

- ・手話は覚えるのは難しいけれど、とても便利なことがわかりました。
- ・耳の不自由な人と一緒に体験ができて良かったです。

アイマスク体験（9月9日・5年生）

講師：佐藤聡史さん

- ・アイマスクをかけた相手に絵の説明をするとき、手を持って大きさや色などを教えるよう工夫しました。
- ・今度は目の不自由な人に絵を伝えてみたいです。



高齢者擬似体験（7月1日・6年生）

講師：畠中美智子さん

- ・高齢者の気持ちが少し分かりました。これからは、高齢者に声をかけたり、困っていることがあったら助けたいです。
- ・ひじ、ひざ、足首が曲がらないし、体がすごく重くて歩きにくかったです。



車イス体験（7月1日・6年生）

講師：森祐子さん

- ・乗ってみると意外と怖かったです。自分で動かすのも手がつかれて大変でした。
- ・押している人も、乗っている人も、お互いに声をかけあうことが大切だと思いました。



♡♡♡ こんちはボランティアグループ ♡♡♡
ボランティアセンター登録グループの紹介コーナー

東上田ボラン ティアグループ

会員は11人。毎月第2金曜日に、生き生きサロンを実施しています。主なものとしては、認知症の予防になるような内容に心がけ、参加者には毎回一言ずつお話をいただき、持ち寄った料理のレシピを交換する等、集った皆さんが楽しく過ごすようにしています。また、地区の作品展に出品するためもの作りに挑戦したり、2月に予定している敬老会に向けてハンドベルの演奏の練習など、工夫を凝らしています。メンバーを新たに募集中です!!

(代表：宮坂美重子さん 電話62-1401)



みんなの掲示板

ボランティア募集等、情報を掲載します。

掲載希望：☎62-4455

助成金情報

NPO・ボランティア団体助成金制度

「ろうきん理念」に基づき、社会が抱える様々な課題の克服に向けて、地域で主体的に活動するNPO・ボランティア団体の活動を支援することを目的に助成します。

対象団体 NPO団体（非営利市民事業団体）、ボランティア団体

※主たる事務所等の所在地が県内にある団体とし、その規模やNPO法人格の有無は問いません。

活動内容 生活・福祉の向上に役立つ活動、勤労者・高齢者が参加する活動。その他本制度の目的に沿うと判断される活動。

助成金額 総額300万円・1団体20万円を上限

締切 12月30日(水)

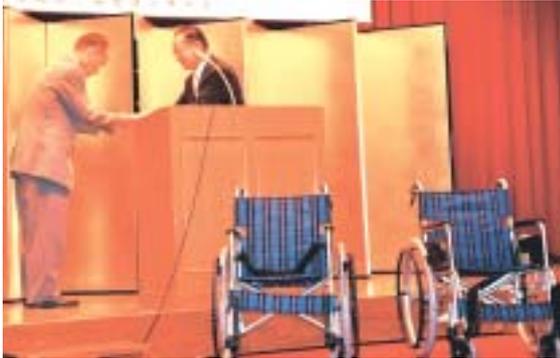
問合せ先 長野県労働金庫 営業推進部

TEL026-237-3742

FAX026-237-3001



(9月・10月の受付分です)



道の駅「雷電くるみの里」様から車イス2台をいただきました



美容室(有)フォルテ&ドンピー様からチャリティーカード13回目になりす

- 匿名様..... 介護用品
- 匿名様..... 車イス、介護用品
- 道の駅(有)雷電くるみの里 様..... 車イス2台
- 匿名様..... 30,153円
- (有)フォルテ&ドンピー 様
- 第13回チャリティーカット売上金..... 80,000円
- 匿名様..... 1,000,000円

ウエス(清拭布)をありがとうございます

(9月・10月の受付分です)

- 匿名様 (東町)
- 匿名様 (日向ヶ丘)
- 匿名様 (県)
- 匿名様 (リードリ-くらかげ)
- 桜井区福祉運営委員会 様
- 新屋百寿会 様



「地域活動支援センター祢津、布下、島川原」の業務が10月1日から「ちいさがた福祉会」へ移管になりました。(写真は利用者激励会の様子)

敬老祝賀訪問

9月28日と30日に、米寿(88歳)、白寿(99歳)、長寿(100歳)を迎えられる皆さんで希望された方に、花岡利夫市長と増田勝仁社協会長が敬老祝賀訪問をしました。また対象者全員に記念品を贈り、長寿を祝いました。



金婚祝賀式

9月22日、中央公民館で東御市と社会福祉協議会の共催で、金婚祝賀式が開催されました。今年は44組のご夫婦がめでたく金婚式を迎えられ、社会福祉協議会からも記念品を贈り祝福しました。



家族介護者の会「太陽の会」で交流

9月16日、高齢者センターで「太陽の会」の交流会が行われました。この会は、日ごろ家族を介護している、また以前、家族の介護を経験したことのある皆さんが集まり、介護の悩みや相談、情報交換を行っています。介護を通じて誰でも参加のできる会です。皆さんもお気軽にお越し下さい。次回は平成22年1月頃開催予定です。



社会福祉協議会会費

ご協力ありがとうございました。
【H21年9月以降にご協力いただいた法人】(敬称略)
●佐久浅間農業協同組合

編集後記

この秋、望月の大河原峠に行ってきました。それぞれに色づく葉の濃淡は見事でした。そして、木々のなんともいえない香ばしいにおいが胸に広がりました。紅葉にも「香り」があることを発見した、さわやかな秋の一日でした。
佐藤